

福祉生活病院常任委員会資料

(平成23年9月16日)

[件名]

- 1 台風12号等による大雨の被害状況について
(危機対策・情報課) 1
- 2 第2回原子力防災連絡会議について
(危機対策・情報課) 5

危 機 管 理 局

台風12号等による大雨の被害状況について

平成23年9月16日
危機対策・情報課
農政課
技術企画課

台風12号（平成23年9月2日から9月4日）の大雨により、下記のような被害等が発生しました。

1 被害状況（原則、平成23年9月15日8:30現在）

- (1) 人的被害 なし
- (2) 住家被害
 - ・全壊1棟（倉吉市）
 - ・一部破損3棟（鳥取市、米子市、南部町）
 - ・床上浸水18棟（倉吉市、湯梨浜町、琴浦町、米子市、大山町、南部町） → 現在は解消済
 - ・床下浸水152棟（鳥取市、倉吉市、湯梨浜町、米子市、大山町、南部町、伯耆町、日南町、）
→ 現在は解消済
- (3) 非住家被害
 - ・全壊2棟（鳥取市、倉吉市）
 - ・半壊3棟（大山町、南部町、伯耆町）
 - ・一部崩壊3棟（湯梨浜町、伯耆町）
- (4) 公共建物（施設、設備等の破損含む。7箇所）
 - ・鳥取県産業技術センター機械素材研究所（法面崩落）
 - ・鳥取中央育英高等学校グラウンド他（法面崩壊、防球ネット等の一部破損）
 - ・智頭農林高等学校上板井原演習林（水路の埋没）
 - ・倉吉農業高等学校農業演習棟（法面崩壊）
 - ・米子南高等学校トレーニング場（屋根のビニール部分剥離）
 - ・境高等学校ピッチングハウス他（防球ネット等の一部破損等）
 - ・船上山少年自然の家倉庫等（浸水等）
- (5) 農林水産関係被害（判明分のみ）（平成23年9月14日12:00現在）

・農作物被害	277,282千円	（ブロッコリーの枯死、梨の落下等）
・農業用施設被害	7,290千円	（ライスセンター、畜舎他）
・農地・水路・農道等施設被害	1,626,040千円	
・林業被害	580,578千円	
・水産被害	2,499千円	
計	2,493,689千円	
- (6) 公共土木施設被害（平成23年9月14日12:00現在）

・河川	177件	1,833,794千円
・道路	196件	1,856,300千円
・砂防	86件	1,194,600千円
・その他	13件	441,238千円
計	472件	5,325,932千円
- (7) 通行支障箇所（全面通行止めをした箇所）
 - ・高速道路 5箇所 → 現在はすべて解除済
 - ・国道（直轄・県管理） 5箇所 → 現在はすべて解除済
 - ・県道 45箇所 → 現在規制箇所 5箇所
 - ・市町村道 39箇所 → 現在規制箇所 16箇所
- (8) 文化財関係（いずれも倉吉市）
 - ・国指定史跡「伯耆国府跡法華寺畑遺跡」
南門の南側斜面が雨水の流出により崩壊。

- ・国指定天然記念物「波波伎神社社叢」
神社西側の市道福庭1号線沿いの崖が長さ2mにわたって崩れた。
- ・国選定重要伝統的建造物群保存地区「倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区」
玉川・背割り水路増水のため床下浸水。(範囲：西町・西仲町・東仲町・魚町)
- ・県指定保護文化財「長谷寺本堂」
本堂の基礎の南側斜面が10m×5mの範囲で土砂崩れ

(9) 上水道関係

- ・断水 10地区発生 → 現在はすべて解消済
- ・飲用制限 2地区発生 → 現在はすべて解消済

(10) 公共交通機関への影響

- ・JR 2日夜半から伯備線を中心に部分運休
3日は県内すべての路線で始発から全面運休
4日は午後以降順次運転再開
5日は倉吉松崎間の法面点検のため、一部列車に運休、遅れが発生
- ・智頭急行 3日は終日運休
4日は午前中スーパーはくとが運休
- ・若桜鉄道 2日に一部運休
3日は終日運休
4日は始発のみ運休
- ・路線バス 3日に中部地区で終日全面運休、西部地区で11時以降全面運休
- ・高速バス 2日に一部の夜行バスが運休、3日は一部を除き、大部分が運休
- ・航空便 2日に鳥取空港、米子空港で夕方以降の便が欠航、3日は両空港全便欠航
4日は両空港の早朝の各1便が欠航

(11) 県内企業の被害状況

- ・物的被害 22企業 (店内の浸水等)
- ・その他風評被害等 7企業 (旅館等で予約キャンセル等)

(12) 停電 延べ停電戸数2,074戸(鳥取市、江府町他) → 現在はすべて復旧

(13) 避難状況 別紙1、2のとおり

(14) 孤立世帯の発生

- ・米子市本宮 (20世帯) ・日野町三土 (11世帯) → いずれも解消済

2 県の体制

- 9月2日 15時 警戒体制(2)警戒本部設置(台風12号の接近に伴うもの)
- 9月3日 9時 災害対策本部設置、第1回災害対策本部会議開催
- 9月3日 15時 第2回災害対策本部会議開催
- 9月4日 10時 第3回災害対策本部会議開催
- 9月4日 16時45分 災害対策本部を解散し、注意体制に移行

3 救援物資支援の状況(9月4日 10:00現在)

- ・湯梨浜町 500mlのペットボトル100本の要請に対して、中部総合事務所が全数量を提供
- ・大山町 毛布200枚の要請に対して、西部総合事務所が全数量を提供
- ・南部町 毛布500枚の要請に対して西部総合事務所が400枚を提供
(避難者が想定より少なかったため、400枚で提供完了)

【参考】主な地点での降水量(鳥取地方気象台資料)

(県内の総雨量(主な場所)) (※降り始め(9月1日0時)から9月4日24時まで)

- ①大山町大山 938mm
- ②鳥取市鹿野 555mm
- ③倉吉市関金 429mm
- ④鳥取市佐治 383mm
- ⑤智頭町智頭 325mm
- ⑥倉吉市大塚 321mm

台風12号による避難勧告・指示の避難実施状況

区分	市町村	発令対象		避難者		発令日時		解除日時		備考
		世帯数	人数	世帯数	人数					
避難指示	米子市	464	1,300	160	524	9月3日	9:43	9月4日	6:00	
避難勧告	鳥取市	30	109	7	20	9月3日	22:00	9月4日	8:00	
避難勧告	八頭町	397	1,321	不明	142	9月3日	16:15	9月4日	5:40	
避難勧告	倉吉市	15	58	不明	39	9月3日	11:20	9月4日	13:15	
避難勧告	湯梨浜町	730	2078	60	119	9月3日	1:47 4:35	9月4日	1:05	
避難勧告	琴浦町	8	19	1	4	9月3日	3:40 5:00	9月4日	7:00	
避難勧告	南部町	3,858	11,695	不明	524	9月3日	6:55	9月4日	8:00	
避難勧告	伯耆町	19	71	7	17	9月3日	11:20	9月4日	9:00	
避難勧告	大山町	49	138	1	2	9月3日	9:40	9月4日	7:00	
避難勧告	日南町	8	25	8	19	9月3日	7:30	9月3日	17:00	
避難勧告	日野町	1	6	1	2	9月3日	8:21	9月3日	16:45	
避難勧告	江府町	6	14	6	14	9月3日	8:30	9月3日	16:30	
避難勧告計		5,121	15,534	91	902					
合計		5,585	16,834	251	1,426					

注)世帯数不明のものは、集計から除いてあります。

台風12号に係る自主避難の状況

市町村	最大時		避難者(最大時)		避難開始日時	解除(帰宅)日時		備考
			世帯数	人数				
鳥取市	9月3日	22:00	15	25	9月3日 9:40 ～ 21:10	9月3日	10:00 ～ 継続中	9地域 ※佐治村加茂地区 避難者6名継続中
八頭町	9月3日	19:00	2	8	9月3日 8:30 ～ 15:30	9月3日 9月4日	19:00 5:40	2地域
倉吉市	9月3日	16:00	不明	21	9月3日 10:30 ～ 11:00	9月4日	6:30 ～ 14:30	5地域
湯梨浜町	9月3日	22:00	不明	7	9月2日 ～ 9月3日 23:53 ～ 9:00	9月4日	6:30 ～ 9:25	3地域
三朝町	9月3日	19:00	2	5	9月3日 17:40	9月4日	8:45	1地域
琴浦町	9月3日	16:00	6	31	9月3日 10:00 ～ 19:00	9月4日	7:00	5地域
伯耆町	9月3日	19:00	不明	51	9月3日 11:00 ～ 12:00	9月3日	11:00 ～ 継続中	5地域 ※大山ロイヤルホテル 避難者4名継続 中
日吉津村	9月3日	16:00	1	1	9月3日 10:00	9月4日	7:40	1地域
大山町	9月3日	16:00	不明	9	9月3日 7:11 ～ 9:40	9月4日	5:50 ～ 夜	3地域
日南町	9月3日	19:00	41	47	9月3日 0:10 ～ 11:45	9月3日 ～ 9月4日	5:40 ～ 17:25	11地域
日野町	9月3日	13:00	3	3	9月3日 9:30 ～ 10:13	9月3日	12:00 ～ 16:45	2地域
江府町	9月3日	16:00	7	8	9月3日 8:00 ～ 12:50	9月3日 ～ 9月4日	16:30 ～ 9:30	5地域
合計			77	216				52 地域

注) 世帯数不明のものは、集計から除いてあります。

第2回原子力防災連絡会議について

平成23年9月16日
危機対策・情報課

福島第一原子力発電所で発生した原子力災害を踏まえた、今後の島根原子力発電所に係る防災体制の見直し（避難計画等）を、島根県、鳥取県及び関係市町が連携して検討する「第2回原子力防災連絡会議」が下記のとおり開催されました。

記

- 1 開催日時 平成23年9月14日（火）午後4時から5時20分まで
- 2 開催場所 島根県原子力防災センター（島根県松江市殿町52）3階全体会議スペース
- 3 出席団体
島根県、松江市、出雲市、安来市、雲南市、斐川町
鳥取県、米子市、境港市
- 4 協議事項
(1) 作業部会の中間報告について
(2) 今後の進め方について
(3) 意見交換

5 協議概要

(1) 中間報告の概要（一部修正のうえ、承認）

福島第一原発事故の全容解明がなされておらず避難区域の根拠も示されていないが、島根原子力発電所周辺住民の安全・安心を守るため、できることから着実に取り組むという観点から、30km圏にある自治体において、国のEPZ拡大等防災対策の制度見直しを待つことなく、福島第一原発と同様な事故が生じ、屋内退避区域30km内の住民が避難することを前提とした避難に係る課題や対応の方向性等について、次のとおり中間報告を取りまとめた。

30km圏内人口	うち鳥取県	うち米子市	うち境港市
461,508人	65,364人	29,469人	35,895人

○福島第一原発事故を踏まえた避難に係る新たな課題等と各課題への対応の方向（中間報告）

ア 初動体制の整備

災害等発生時における、鳥取県や関係市町からオフサイトセンター等へ衛星携帯電話を持参した要員の派遣体制の整備や意思決定の手順等の整備 など
《今後検討すべき課題：連絡通信機器の整備（現行のEPZ圏外は国の支援対象外）》

イ 住民避難体制の整備

一時集結所の指定と運営方法等の整備、広域避難先の確保（バリアフリー等を確認）、輸送手段・輸送ルート等の確保（バス・タクシー・JR・自衛隊車両等） など
《今後検討すべき課題：自家用車避難への対応策や避難誘導等に必要な資機材等の整備、住民への事前周知、事業所・学校等への連絡体制等》

ウ 災害時要援護者避難体制の整備

社会福祉施設等入所者や病院の入院患者、在宅要援護者の避難体制の整備 など
《今後検討すべき課題：輸送方法や避難先施設・病院とのマッチング方法の確立等》

エ 緊急時モニタリング体制の拡充整備

可搬式モニタリングポストの追加、モニタリング範囲の拡大に対応した体制の整備（福島原発事故における計画的避難区域の設定範囲を目安に、概ね50km圏内で空間線量率を測定するポイントの設定） など
《今後検討すべき課題：測定機器の整備、モニタリング要員動員体制の拡充等》

オ 今後の検討課題

被ばく医療体制（スクリーニング、被ばく医療機関、安定ヨウ素剤備蓄等）の拡充、原子力防災訓練のあり方の再検討、避難者・屋内待避地域への支援体制の整備 など

【広域避難の例（20km圏内避難指示）】

○避難経路

「自宅」→（徒歩）→「一時集結所」→（バス）→ → → 広域避難所
↓（バス・徒歩）→「駅」→（列車）↑

※放射性物資放出後の避難に備え、避難経路上にスクリーニングポイント設置を検討

(2) 主な議論等

(鳥取県危機管理局長)

課題への方向性等は取りまとめられたが、中間報告にない或いは、より具体化が必要な事項として、例えば島根半島側から鳥取県側への避難者数とその輸送手段や被ばく医療体制の具体的な整備、災害時要援護者の避難先として広島県など他県を含めた広域的な調整などは、この連絡会議・作業部会で、より具体的な検討をしていくべき。鳥取県はシミュレーション訓練を予定しており、優先順位付けしながら検討のスピードアップをお願いしたい。

(松江市防災安全部長)

松江市では全域がほぼ30km圏で市内には避難できないなど市町ごとで事情も違うが、避難先の決定(A市B地区⇒C市D地区等)は、あらかじめ決めておくべき最優先事項。いきなり輸送手段や輸送ルートを決めるということにならない。30km圏外の市町村への説明も必要。

(島根県)

早急に検討が必要と指摘いただいたな課題等の具体的な検討については、今後作業部会〔座長：島根県細田参事〕において、原子力防災訓練のあり方も含めて鋭意検討させたい。ハード整備が伴うため早急な対応が難しい事項を除き、当面12月末を目途に検討案の取りまとめ等を進め、今年度末までに暫定的にでも各団体の原子力災害への対応能力を早期に強化したい。

国の防災指針の検討状況等を適宜反映させるとともに、各対策の具体化にあたっては、鳥取県や関係市町等と連携して、住民の理解と協力が得られるよう工夫する。

6 今後の予定

鳥取県においては、島根県の動きに合わせながら、以下のスケジュールで暫定版避難計画の策定作業を進めていく予定。

- ・10月頃 中間報告を踏まえ、鳥取県と境港市、米子市共同で避難計画暫定版作成へ
- ・12月頃 シミュレーション訓練
- ・翌1月頃 暫定版避難計画の完成

(参考) 第2回原子力防災連絡会議出席者名簿

自治体名	所属	職名	氏名	備考
松江市	総務部	防災安全部長	松本純一	構成員
	総務部	原子力専門監	三並賢造	
出雲市	総務部	危機管理監	森山靖夫	構成員
安来市	総務部	部長	真野善久	構成員
雲南市	総務部	部長	渡部彰夫	構成員
斐川町	総務課	課長	池田透	構成員
米子市	総務部	次長(防災安全課長)	玉島茂	代理出席
境港市	産業環境部	部長	角俊一郎	構成員
鳥取県	危機管理局	局長	城平守朗	構成員
	西部総合事務所	県民局長	中山孝一	
島根県	総務部	危機管理監	大國羊一	構成員(議長)
	総務部	参事	細田晃	
	総務部	原子力安全対策課長	山崎功	
経済産業省	原子力安全・保安院島根 原子力保安検査官事務所	所長	竹廣智治	オブザーバー
島根県 警察本部	警備部	警備部長	植中隆史	オブザーバー
鳥取県 警察本部	警備部	警備第二課長	前田裕明	オブザーバー

※第1回原子力防災連絡会議は、平成23年5月24日開催